

平成 29 年 11 月 21 日

「税に関する作文」表彰式 11 / 20

租税教育の一環として東松山税務署管内の中学生に税に関する作文を募集したところ、1182編の募集がありました。その中で、本校3年生が東松山市長賞を受賞し、市長室での表彰式に臨みました。



森田東松山市長から賞状を授与



受賞作文を朗読



本人・保護者や税務協会の方々との記念撮影

東松山市長賞

「自分で自分の生活を守る」

東松山市立 白山中学校 三年

現在の消費税が五パーセントから八パーセントに引き上げられたのは、平成二十六年の四月一日。私はまだ小学生でした。その時の私は、「物が高くなるだけじゃん。やだー。」と思っていました。ですが、税金の使われ方を調べてみると、その時思っていたことを後悔しました。

義務教育を受けている私たちにとって、一番身近な教科書、学校で使っているいすや机、校舎の建設にまで税金が使われていました。普段何となく使っている物に、日本国民が納めた税金が使われていると思うと、感謝しなければならぬな、と思いました。税金がなかったら、私たちは義務教育をきちんと受けられないと思うので、あと半年、一日一日を学校で過ごせることに感謝していこうと思いました。

また、災害の復旧のためにも税金が使われていることを知りました。東日本大震災や熊本地震があり、仮設住宅の建設等に税金が使われています。このように税は、人々の生活をできるだけ支援し、わたしたちの生命を守ってくれています。私が夏休み中に参加した高校説明会の中の一つの高校では、被災地でのボランティア活動を行っている学校がありました。福島県いわき市へ行き、掃除や、仮設住宅に住んでいる人との交流などを行っているという

話をききました。実際に行くことによって、税金だけでは支えられない心の面も助けることができるな、と感じました。

このように、税金だけではダメなことがまだいくつもあると思います。ですが、それでも私たちの安全で快適な暮らしのためにできる限りのことをしてくれるのが、税の役割だと思いました。

日本国民全員が普段何気なく納めている税金。その税金には、自分で自分の生活を守るというメッセージが隠されていると考えました。これからも消費税の引き上げはあると思いますが、自分のためだと思い、しっかりと納めていこうと思います。

二学期からの学校生活も、より感謝して過ごしていこうと思いました。税についての考えを深められてよかったです。